

# みぬまハウス 通信

第21号 2014年10月1日発行  
さいたま市見沼区大和田 2-1288-4  
NPO法人 みぬまで暮らす会  
TEL/FAX 048-796-0295  
<http://www.minuma-hausu.net/>

## ☆「困ったときは みぬまハウス」が 合言葉 ☆

みぬまハウスでは2月から、生活支援サービス事業に加え、介護保険事業（訪問介護）を開始し、身体介護、家事援助、デイサービスへの送り出しなど、休日返上でヘルパーたちが利用者様宅に伺っています。「歳のせい物忘れ？それとも認知症？」と悩み始めたら、まずはみぬまハウスにご相談ください。

要介護認定の申請代行→ケアプランの作成→ヘルパーの派遣と、一連の支援を行っています。

足腰が弱くて外出が困難な方には「移送サービス」。また、介護認定を受けられなかった方や介護保険外の支援には、「生活支援サービス」をご利用いただけます。

三つのサービスを組み合わせて、介護保険・介護保険外の費用負担ができるだけ少なくて済むように、コーディネーターが相談に応じているところがみぬまハウスの特徴です。

ひとりで悩んでいないで、「困ったときは、みぬまハウス」「とにかくまずは、みぬまハウス」です。

## ☆ 好評！ 参加者80名！ 終活講座「転ばぬ先の杖」開催中 ☆

昨年度好評の終活連続講座の続編「転ばぬ先の杖」が、9月5日（金）午後1時30分から見沼区役所1階の多目的ルームで行われ、80名もの方々が参加されました。

第1回目は、「老後の暮らしはどう変わる？」というテーマで、シニアサポートセンター大和田（地域包括支援センター）のセンター長さんから、介護保険法の改正により介護や家事援助のサービスはどのように変わるのか、地域の見守りの仕組みにはどんなものがあるのかを説明いただきました。

後半は、大和田町・大和田東・堀崎町・蓮沼の4自治会から、会長さん・福祉部長さん・民生委員さんが駆けつけてくださり、それぞれの町内の見守り活動について説明をしてくださいました。



講座は10月17日まで、毎週金曜日 13:30～

この講座は「さいたま市見沼区市民活動ネットワーク事業」の助成金を受けて開催されています

第2回目（9/12）と第3回目（9/19）は認知症の正しい理解とケアについて、さいたま市の認知症キャラバンメイトおよび「認知症の人と家族の会」のメンバーから実態に即したお話を聞き、認知症への理解を深めることができました。

## ☆ 見沼ファーム 21 から 新米プレゼント！ ☆

みぬまハウスは、見沼ファーム 21 から「ありがとう米」をいただくことになりました。見沼田んぼで収穫した新米です。11月ごろからランチで提供します。ぜひ食べに来てくださいね。



見沼ファーム 21 は 1999 年から県の委託を受けて、見沼田んぼで市民の米作り体験活動を行っています。田植えから稲刈り・収穫祭までの一連の農作業のほか、各種イベント、年間を通しての水田の管理など、幅広い活動を行い、毎年 100 組以上、約 350 人が参加しているとのこと。「ありがとう米」は 2005 年から、収穫した新米を高齢者福祉団体、障害者福祉団体など 50 団体に提供し、喜

ばれています。

## ☆ みぬまハウス千客万来 8月は3団体がみぬまハウスの取材にいらっしゃいました。 ☆

4日(月) 14時～ 社会保険研究所の取材。 目的：リタイア後の人生を地域で生かす。理事の長谷川幹夫がお話しました。

11日(月) 13時～ プラチナコンシェルジュ(FPの会社)からスタッフお二人が来訪。 目的：ブログ“おひとりさまスマイルカフェ”にみぬまハウスの活動を紹介したい。会員の海瀬澄江さんと阪井佳子さんがお話をしてくれました。



29日(金) 14時～ 早稲田大学人間総合研究センターから3人の研究員が取材にみえました。 目的：地域に根差した市民主体・高齢者主体の取り組みについて。

代表の嘉成が質問にお答えしました。



## ☆ 10月17日(金) 10:00～ 公民館カレッジ元気塾 ☆

春岡公民館で「老老介護・家族のつながりと隔たり」というテーマで、理事の長谷川幹夫がお話をします。みなさん、聞きに来てくださいね。

## ☆ 10月25日(土) 10:00～ ハロウィンパーティー ☆

大和田銀座通り商店会主催のハロウィンパーティーです。小学3年生まで参加できます。会場は埼玉懸信用金庫の駐車場。受付でカードをもらって商店街をスタンプラリー。ゴールでプレゼントと大道芸などの楽しい催しが待っています。みぬまハウスは、ジュースやカップラーメンの屋

## ☆ 11月8日(日) 10:00～ 見沼区民ふれあいフェア ☆

毎年恒例のふれあいフェアが見沼区役所の駐車場とグラウンドで開催されます。みぬまハウスは、活動のパネル展示と、会員さんたちの手作り作品や提供品の販売をします。入口近くの「見沼区市民活動ネットワーク交流会」のブースで人気投票をします。みぬまハウスへの投票を！

### 介護保険外の生活支援サービスのご案内

みぬまハウスは、介護保険で賄えない生活のあれこれを会員同士で支え合っています。利用した人は1時間700円を支払います。(超過30分ごとに300円)いつでもサポーター募集中です。あなたも支え合いの仲間になりませんか。